郡山城跡案内絵図

N

クヌギ
秋にはドングリがいっぱい

城跡の樹木

- 梅（盆梅展） 2月中旬～3月初旬
- 桜（お城まつり） 3月下旬～4月初旬
- ささんか
- 椿
- あせび
- 雪柳
- れんぎょう
- 桐
- センダン
- サツキ
- イチョウ
- もみじ
- キンモクセイ
- 楠
- どうだんつつじ
- 松
- つげ
- モチ　等々

博学多芸の文化人
柳里恭屋敷跡の碑

郡山城きりん郭跡の碑

西御門跡

駐輪場

麒麟（きりん）曲輪

松陰堀

緑曲輪

郡山城情報館

厩（うまや）跡

五拾間馬場跡

郡山城情報館前
臨時駐車スペース(有料)
9:00～17:30（2027年1月31日まで）

馬場先門跡

天守台展望施設

さかさ地蔵

厩向櫓跡

埋門跡

月見櫓跡

祖霊舎

柳澤神社

白沢門跡

社務所

続日本百名城
郡山城跡の碑

坤櫓跡（本丸）

竹林櫓跡

竹林橋跡

極楽橋

極楽橋の碑

歴史の宝庫
柳沢文庫

続日本100名城のスタンプ設置

この付近
毘沙門曲輪

玄武曲輪

植松櫻碑

城跡散策道

この付近
常盤曲輪

高台なのに
水を切らさぬ池

追手門（梅林門）

久護門跡

2月は梅

番屋カフェ

追手向櫓

明治の館

城址会館

東隅櫓

写真、絵に
最適ポイント

しだれ桜

桜御門跡

DMG MORI
やまと郡山城ホール
市立図書館

元気城下町パスパーク

五軒屋敷跡

五軒屋敷堀

陣甫（じんぼ）曲輪

松蔭門跡

仕切塀

中仕切門跡

裏門跡

松蔵跡

桐
5月初旬に花

西公園・薪蔵跡

鰻堀池

南御門跡

坤櫓跡（ひつじさる）（二の丸）

郡山高等学校

表門跡

日本さくら名所100選の碑

御殿の入口
鉄御門跡

二の丸跡
東は藩庁の表向
西は藩主の私邸・奥向きに
大別されていた

砂子の間前櫓跡

鷺池

武田阿波祠

蓮池跡

三の丸緑地

城の表玄関
柳御門跡

大和郡山市役所

大手堀

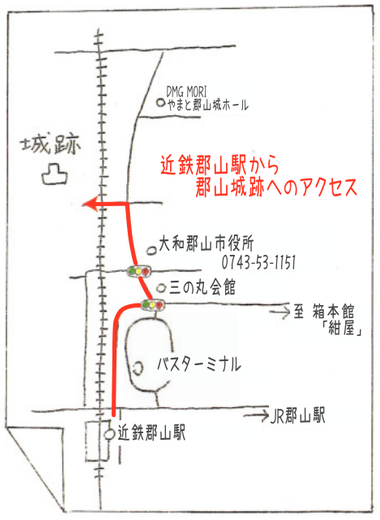
中堀、大手橋の欄干

柳蔵跡

頼当門（ほほあて）

三の丸会館

柳澤家 菩提寺
永慶寺は すぐそこです



この地図は2026年5月調査に基づいて作成
発行　(一社)大和郡山市観光協会 0743-52-2010
企画・制作　みちしるべの会
後援　大和郡山市まちづくりアイデアサポート事業

1～7 句碑・歌碑・詩碑
（詳しくは裏面をご覧ください）

石碑マーク

山高神代桜
（山梨県北杜市・柳澤史跡保存会からの寄贈）

史跡郡山城跡散策

☆郡山城の歴史

郡山城の築城は天正８年（1580）、筒井順慶が筒井から郡山に移った時に始められました。天正13年（1585）８月には、豊臣秀吉の弟秀長が郡山城に入城。秀長は紀伊、和泉、大和の三ケ国百万石の太守・大納言として城の大拡張工事を行いました。壮大な高石垣は荒々しい野面積み（のづらづみ）で、寺院の礎石、庭石、五輪塔、石地蔵などが用いられています（転用石材）。

また、秀長は城下町繁栄のため、奈良や堺の商人や職人等を郡山に呼び寄せて箱本十三町をつくりました。箱本十三町は、免税（地子免除）とする代わりに一ヵ月の当番制で自治活動（治安・消火・伝馬等）を行う「箱本制度」を導入した町として知られています。

秀長の死後、増田長盛が20万石で入城し、秋篠川の付け替えや溜池をつないで周囲が50町13間（約5.5Km）の外堀を完成させました。

徳川時代となって水野勝成、松平忠明、本多政勝、松平信之、本多忠平など徳川譜代の城主の後、享保９年（1724）、柳澤吉里が甲府より15万石で入城し、郡山柳澤氏は６代145年間続きました。明治２年（1869）、柳澤保申が最後の藩主であった時に版籍奉還となり、明治６年（1873）には政府の方針により城郭が全て入札売却されました。

「郡山城跡」は、平成29年（2017）４月６日、「続日本100名城」に選ばれ、さらに令和４年（2022）11月、国の史跡に指定されました。

☆天守台

郡山城の天守台は本丸の北端部に位置しています。上面で約16×18m、基底部で約23×25m、南北に少し細長い長方形で、高さは約8.5mあります。そして、南側に高さ約4.5mの付櫓台が取り付く「複合式天守」の形態となっています。また、天守台の標高は81mで眺望がよく、東側に若草山、東大寺大仏殿、興福寺の五重塔、薬師寺、平城京跡など、また、西側に矢田丘陵、明神山、二上山雄岳、葛城山、金剛山などが遠望できます。

天守台の野面積みの石垣には沢山の「転用石材」が積み込まれていて、なかでも天守台北面石垣の築石としてさかさまに積み込まれている「逆さ地蔵」が有名です。

平成25年（2013）度から、崩落の恐れがあった天守台の石垣の修復と、展望施設の整備が行われました。それに先立つ発掘調査で、天守の礎石列、金箔瓦等が見つかり、１階部分が7×8間の天守が豊臣政権期に確かに建てられていたことが確認されました。そして、平成29年（2017）３月26日、「郡山城天守台展望施設」が完成しました。

☆柳澤神社

明治13年（1880）、旧藩士によって創建。祭神は柳澤藩の開祖柳澤吉保公。

☆極楽橋

令和３年（2021年）、極楽橋が明治６年（1873）の郡山城廃城以来約150年ぶりに再建されました。天守曲輪と東側の毘沙門曲輪を繋ぐ橋で、江戸時代は本丸登城のための正式な入口となる重要な橋だったとされています。

☆柳沢文庫

昭和35年（1960）、郡山城跡が県の史跡指定になったのを機縁として財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会として発足（柳澤藩の諸記録、郷土資料などの保存、城跡維持管理など）。

☆城址会館

昭和43年（1968）に奈良県立図書館（明治41年築）を譲り受け、郡山城跡に移築開館しました（昭和45年（1970）竣工）。平成９年（1997）に県の有形文化財に指定されました。

☆追手門

「明日のお城と城下町を考える会」などの市民運動により、豊臣秀長築城当時に近い形で昭和58年（1983）追手門が復元され、続いて追手東隅櫓、追手向櫓、多聞櫓などが昭和62年（1987）にかけて再建されました。

☆郡山城情報館

郡山城のジオラマやパネル展示・バリアフリートイレがあります。

☆郡山城の御殿桜

明治になって、城郭が取り払われた郡山城跡にたくさんの桜が植樹されました。「御殿桜」と呼ばれ、当時からぼんぼりを設置し「夜桜」も楽しまれていたそうです。今では春には約800本の桜が咲き誇り、たくさんの人でにぎわいます。

平成２年（1990）に「郡山城址公園」が「日本さくら名所100選」の地に選ばれました。ソメイヨシノをはじめ大島桜、山桜、しだれ桜、八重桜などたくさんの種類の桜があり、長いあいだ花を楽しむことができます。

☆お城まつり

３月下旬から４月初旬まで、「お城まつり」が盛大に開催されます。明治以来の伝統を持つ金魚品評会、源九郎稲荷神社の白狐渡御や時代行列など数多くの行事があり、郡山城跡では夜桜も楽しめます。

また、天守台やその周りの石垣の中に眠る多数の石仏、五輪塔などの無縁仏や、城史有縁の諸霊を慰めるため、市民有志の浄財で奉納された大数珠（全長162m、珠の直径15cm、1080個）で天守台を取り巻き、永慶寺、発志禅院、春岳院のご協力を得て、「数珠くり法要」が行われます。

☆郡山城跡の句碑、歌碑、詩碑

①「十五万石の城下へ　花の坂」青畝　・・・・松の坂、鉄御門跡石垣の対面に阿波野青畝の句碑

②「大和また　新たなる国　田を鋤けば」誓子・・・・・・・・・・城址会館西側に山口誓子の句碑

③「菜の花の　中に城あり　郡山」許六・・・・・・・・・・・・・・城址会館前に森川許六の句碑

④「ぼうせきの煙突」小野十三郎・・・・・・・・・・・・・・城址会館南側に小野十三郎の詩碑

⑤「天地の　神にぞ祈る　朝なぎの　海のごとくに　波立たぬ世を」昭和天皇御製・柳澤神社拝殿前

⑥「金魚とねこ」森口武男・・・・・・・・・・・・・郡山高校表門跡塀際に森口武男の童謡詩碑

⑦「むら立ちて　咲く蓮のはな　そと濠の　たかいし垣に　朝日照りつつ」耕平詠
・・・西公園（城址公園）南端に土田耕平の歌碑

※①～⑦は表面絵図に表示

（みちしるべの会）